



お盆 ～大切な人と過ごす特別な時間～

今年もお盆がやってきます。お盆はお戻りになるご先祖様の魂をお迎えして、感謝と供養をする大切な伝統行事です。中には亡くなられてから初めてのお盆、「初盆」を迎えられる方もおみえかと思えます。今回はその「初盆」について詳しくお話します。

「初盆（はつぼん、ういぼん）」、または「新盆（あらぼん、にいぼん）」は、故人の四十九日が過ぎた後、初めて迎えるお盆のことをいいます。四十九日前にお盆の時期が重なった場合は、次の年のお盆に初盆を迎えます。亡くなられてから初めてこちらに帰ってくる特別な機会なので、ご親族はもちろん、ご友人なども招いて大勢でより丁寧にお迎えするのが好ましいとされることも多いようです。

初盆の飾りで特徴的なのは、新盆の時にだけ使用する白い提灯「白紋天（しろもんてん）」を飾ることです。御供花もそれに合わせて白を基調にしてしめやかなお色でまとめたお花が飾られることが多いですが、それにこだわりすぎる必要はありません。最近では故人様が好きだったお花や色、雰囲気に合わせてお花を選ばれる方が多くなっています。故人様のお好きなものを思い出して心を込めてご準備される御供花で、初めてのお盆を華やいだものにして迎えてみてはいかがでしょうか。



① ユリとグラジオラスのアレンジメント
¥10,000（税込 ¥11,000）
大きなユリをメインにした爽やかなお供えアレンジメントです。



② ホオズキ入りのお盆仏花 ¥1,500（税込 ¥1,650）
特別なお盆には、ホオズキやリンドウなどが入った特別な仏花を。



③ アンスリウム・ピンポンマムとトルコキキョウの
アレンジメント ¥5,000（税込 ¥5,500）
初盆向きの基本の白一色のアレンジメントです。



お盆が過ぎると…秋の気配を感じます

お盆が過ぎてもきっとまだまだ暑い毎日ですが、名古屋園芸では一足お先に秋の花々が顔を出し始めます。8/7に立秋を迎えるように、暑い中でも暦の上では秋ははじめ。少しずつ秋のお花を飾って雰囲気を楽しみたいものです。

色合いも秋を感じるオートムカラー、アンティークカラーのものが増えてきます。季節の変化を色で感じる、というのもステキなものです。

お盆を過ぎたら、少しずつ秋準備。お花で涼やかな秋を演出してみたいかがでしょうか。



④ リンドウ・ワレモコウ

涼を呼ぶ 斑入り植物で夏を楽しもう

ジメジメムシムシ、暑い夏。さわやかな斑入り植物とおうちで涼みませんか。緑の葉に白や黄、赤の模様が入った斑入り植物は、個性的かつインテリア性も高く人気の植物です。今回はそんな斑入り植物の魅力を探っていきます。

斑入り植物とは、葉などに本来持っているべき以外の色で模様が入る植物のことを指します。ひとまとめに斑入り植物と言ってもその姿は千差万別！スッと入ったラインが目を惹くもの、複色のモザイク模様となり他とは違う個性を出すもの、葉の縁を囲い柔らかな雰囲気を表現するものなど、知れば知るほどに斑入り植物のデザイン性に圧倒されます。

そんな斑入り植物は他とは違った特徴を持ちます。斑入り植物は斑のない植物に比べて生育もゆっくりですので、植物をあまり大きくせずコンパクトに育てたい方にもオススメです。また葉焼けの原因にもなる強い光が苦手なので、日光量の少ない場所でも管理して頂けますよ。ただし日光量が少なすぎるのも大問題。せっかくの斑の入り方が変わってしまったり消えたりしてしまう事もあるので、しっかりと観察してよい場所に置いてあげることが大切です。そのお手入れひとつできれいな斑が出た時の喜びは格別ですよ。

お気に入りの植物を育ててみませんか？植物それぞれの模様を楽しんでコレクションをしてみるのも楽しいですよ。



斑入りスパティフィラム
¥4,400（税込 ¥4,840）



フィロデンドロン スノードリフト
¥13,000（税込 ¥14,300）